

〈応用物理学専攻 博士課程前期〉

令和5年度4月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専修部門	主指導教員	主な研究内容
基礎物理学	教授 博士(理学) 固武 慶	爆発的天体現象に関する理論的研究
	教授 博士(理学) 宮原 慎	磁性体などの物性理論
	准教授 博士(学術) 林 壮一	物理教育に関する研究
物性物理学	教授 Ph.D 武末 尚久	X線・粒子線散乱と第一原理計算による物性研究
ナノ物理学	教授 博士(理学) 香野 淳	物質のナノスケールの構造と物性に関する研究
	教授 工学博士 永田 潔文	半導体の構造と物性に関する研究
	教授 博士(理学) 眞砂 卓史	微細電子材料の電子物性に関する研究
	教授 博士(理学) 山本 大輔	生体分子の構造と物性に関する研究
物理情報計測	教授 博士(理学) 御園 雅俊	超高分解能レーザー分光学に関する研究
	准教授 博士(理学) 端山 和大	観測的重力波天文学
	准教授 博士(科学) 大前 宣昭	次世代周波数標準に関する研究
	准教授 博士(理学) 政田 洋平	非線形物理現象の計算, データ科学手法による研究

授業科目, 単位, 担当者及び履修方法, 主な研究内容 (令和4年度現在)

※令和4年度開講科目は, シラバス (授業内容含む) をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上, 参照ください。

主要科目

専修部門	授業科目	単位数	担当者	主な研究内容
基礎物理学	基礎物理学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 固武 慶	爆発的天体現象に関する理論的研究
	基礎物理学講究Ⅱ	4	教授 博士(理学) 宮原 慎	磁性体などの物性理論
			准教授 博士(学術) 林 壮一	物理教育に関する研究
	基礎物理学演習	10	教授 博士(理学) 固武 慶 教授 博士(理学) 宮原 慎	
物性物理学	物性物理学講究Ⅰ	4	教授 Ph.D 武末 尚久	X線・粒子線散乱と第一原理計算による物性研究
	物性物理学講究Ⅱ	4		
	物性物理学実験	10		
ナノ物理学	ナノ物理学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 香野 淳	物質のナノスケールの構造と物質の物性に関する研究
			教授 工学博士 永田 潔文	半導体の構造と物性に関する研究
	ナノ物理学講究Ⅱ	4	教授 博士(理学) 眞砂 卓史	微細電子材料の電子物性に関する研究
			教授 博士(理学) 山本 大輔	生体分子の構造と物性に関する研究
	ナノ物理学実験	10	教授 博士(理学) 香野 淳 教授 工学博士 永田 潔文 教授 博士(理学) 眞砂 卓史 教授 博士(理学) 山本 大輔	

物理情報計測	物理情報計測講究 I 物理情報計測講究 II	4 4	教授 博士(理学) 御園 雅俊	超高分解能レーザー分光学に関する研究
			准教授 博士(理学) 端山 和大	観測的重力波天文学
			准教授 博士(科学) 大前 宣昭	次世代周波数標準に関する研究
	准教授 博士(理学) 政田 洋平	非線形物理現象の計算・データ科学手法による研究		
	物理情報計測実験	10	教授 博士(理学) 御園 雅俊 准教授 博士(理学) 端山 和大 准教授 博士(科学) 大前 宣昭 准教授 博士(理学) 政田 洋平	

特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	宇宙物理学特論	2	非 専 修	生物物理学特論	2
	統計力学特論	2		計測情報処理特論	2
	量子物理学特論	2		物理教育学特論	2
	量子エレクトロニクス特論	2		科学教育研究特論	2
	レーザー分光光学特論	2		科学哲学特論	2
	結晶物理学特論	2		科学教育学特論	2
	X線結晶学特論	2		基礎物理学特別講義	1
	力学物性特論	2		物性物理学特別講義	1
	低温物理学特論	2		ナノ物理学特別講義	1
	半導体特論	2		物理情報計測特別講義	1
磁性物理学特論	2	化学教育学特別講義	1		

- 1 学生は、主要科目のうちから1専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び専修科目以外の科目の選定並びに学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の30単位以上は、専修科目18単位(講究8単位、実験又は演習10単位)及び特修科目12単位以上とし、主指導教員が必要と認めた場合、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 6 前項に規定する授業科目のほか、主指導教員が必要と認めた場合は、応用物理学専攻博士課程後期の特修科目を履修することができる。ただし、この修得単位は、修了要件単位数に算入しない。
- 7 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について修士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。